

## 川内原発再稼働差し止め仮処分申請、高裁不当決定

6日に原発稼働差し止め仮処分の申請を宮崎高裁は棄却しました。福島事故後、原発の運転差し止めを巡る判決や仮処分決定は今回で9件目だそうです。うち3件で運転差し止めの判断が出ていて、今回4件目にはなりませんでした。

右は、原告団・弁護団の共同声明です。

3月の大津地裁は新基準について「十二分の余裕をもつべきだ」と指摘していました。

高裁宮崎支部も規制委がまとめた火山影響評価ガイドを批判し、「過去の最大規模の噴火で設計対応不可能な事象を起こす火山が地理的領域にある場合は、立地不適とすべき」と踏み込んでいながら、今回の決定は、矛盾をはらんでいるとしか言いようがありません。

### 毎日新聞より一部抜粋

川内原発が止まれば、国内の稼働原発が再びゼロに戻るところだった。再稼働を進める国も電力各社も今回の決定に安堵したに違いない。だが、その前に司法も揺れているという事実を直視し、国民の不安に真摯に向き合うべきだ。(杉谷健太)

2016（平成28）年4月6日

「原発なくそう！九州川内原発訴訟」原告団  
団長 森 永 明 子  
「原発なくそう！九州川内原発訴訟」弁護団  
共同代表 弁護士 森 雅 美  
                  弁護士 板 井 優  
                  弁護士 後 藤 好 成

本日福岡高裁宮崎支部は、住民が申し立てた、川内原発1号機2号機の稼働差し止め仮処分決定に対する即時抗告を棄却した。

本件棄却決定は、新規制基準の一部をなす火山ガイドが不合理であること、過去に火砕流が到達したと考えられる原発は原則として立地不適とすべきであること、及び降下火砕物の影響評価において想定した値が10倍以上の過小評価となっていることを認めておきながら社会通念上そこまでの安全性は求められていないという理屈で申立てを棄却している。

また、改正された原子力基本法上、確立された国際水準を踏まえるべきことが明確に要請されているにもかかわらず、火砕流噴火のリスクは現行法制度上考慮されていないとした部分は、法解釈を誤ったものという他ない。

本日の棄却決定の結論及び理由は、東京電力福島事故の巨大さ、深刻さ、を直視することなく、政府の原子力政策を安易に追認するもので私たちは到底認める事ができない。

福島第一原発事故により、原発事故がいかに甚大な人権侵害をもたらすか明らかになった以上、原発を再稼働するためには、極めて高い安全性が要求されなければならないことは自明である。

私たちは、この不当決定に臆することなく川内原発の廃炉まで戦い続けることを宣言する。 以上



### 金曜集会

毎月第1金曜日に実施している金曜集会。4月は1日でした。

4月からは始まりが18時です。脱原発や戦争法反対を訴えて、市内をデモ行進しました。

次回は5月6日です。松下代表から開催場所のローテーション化（次回、西原）や、方法の変更（スタンディングアピール）が提案されました。

# 自衛隊機墜落事故の意味すること

4月6日は、もう一つ大きなニュースが飛び込んできました。鹿屋基地を離陸した自衛隊機が消息を絶ったというニュースです。

昨年、鹿屋基地を飛び立った訓練機（ヘリ）が墜落した事故がありましたが、今回は電波施設を点検するためにきた埼玉県入間基地の電波施設点検機です。入間基地にはこういう点検機が、事故機を含めて3機あるんだそうです。

亡くなった6人に対しては冥福を祈るしかありませんが、気になるのは「電波施設の点検」です。

朝日新聞によると、点検時には電波の周波数や質を正確に把握するため、基地

への進入角度を変えて何度もアプローチするんだそうです。今回は通常の点検だろうと思いますが、山にぶつかると、と聞くと、17年度から本格運用されるという米軍の訓練飛行（離着陸訓練は当然低空飛行になる）が想起され、本当に通常の点検だったろうかと考えてしまいます。

つまり、げすの勘ぐりかもしれませんが、点検は本格運用のための準備、米軍を迎え入れるための準備じゃないだろうか、という疑

念です。

しかし下手な勘ぐりをせずとも、近くで頻りに訓練が行われるということは、危険と背中合わせだということに変わりありません。

南日本新聞社説（4/9日）によると、この辺りの飛行は難易度が高い（元操縦士の話）そうです。少し考えると分かりますが、今回も登山者が巻き込まれたかもしれない事故です。



## 糞害

—— 他愛のない話 ——

樋園哲思

冬の初めだったか、連れ合いが「この前もドアホンに鳥の糞がついていたの。きれいに拭き取ったばかりだったのに、まただ・・・」と嘆いていた。被害はもう何回目からしい。

玄関の外に出てみると、丁度ドアホンのボタンの辺りに、恐らくは鳩の糞だろう、汚物がべっとり付いていて、成る程これでは客が来ても、ピンポンと鳴らすことができない。上の方に視線をやると、ドアホンの真上に、数年前に取り付けたセンサーライトが壁に突き出るように付いていて、どうやらそこが鳩にとって格好の休憩所になっているようだ。

さて鳩が寄りつかないようにするためにはどうしたものかと思案していたが、いいことを

思いついた。ガムテープだ。

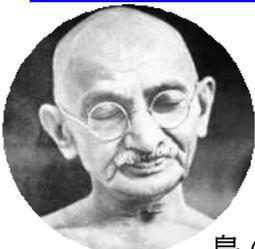
ガムテープの糊の付いた側を外側にして輪っかを作り、それをセンサーライトにくっ付けておく。そうとも知らず、いつものようにそこに止まった鳩は、足にガムテープがくっ付いて居心地が悪いだろう、という自画自賛的妙案である。

それ以来「糞害」は起こっていない。ただし、ガムテープは、鳩が足にくっ付けて持ち去ったのか、それとも風で飛ばされたのか、今はそこにはない。



こんな他愛のない話でも、病床の母が声を上げて笑った。

### 七つの社会的罪（ガンジー遺訓）



- ・理念なき政治 / ・労働なき富
- ・良心なき快楽 / ・人格なき知識
- ・道徳なき商業 / ・人間性なき科学
- ・献身なき崇拜

小出裕章さん（元京大助教）は、福島事故はこの七つの罪の全てが絡み合って引き起こされたと言います。さて、戦争法は？ 憲法改悪は？ 米軍の沖縄や鹿屋での訓練は？

### おしらせ

#### くろつち会 総会

5月8日（日）10:00～  
千成本店

#### ハンセン病市民学会

5月14日（土）13:30～  
全体会 文化会館  
15日（日）9:00～12:00  
分科会 敬愛園